

## 文化財保存修復研究センター紀要 投稿論文・報告募集要項

本紀要は、東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センター（以下、本センター）において行った文化財に関する研究または保存修復に関する研究の論文および報告を公表することを目的とし、下記の通り、本紀要の論文および報告原稿を募集する。

### 1. 投稿資格

- 1) 本センター研究員（専任・兼任・常勤嘱託・客員を含む。）
- 2) 東北芸術工科大学文化財保存修復学科・歴史遺産学科教員（専任・非常勤・特別講師を含む。）
- 3) 東北芸術工科大学大学院生等（学生の場合は主に修士論文で、担当教員の推薦を受けたもの。また、上記に挙げた教員・研究員との連名での執筆。）

### 2. 募集原稿の内容

原稿は論文もしくは報告とする。

- 1) 論文は未発表のものに限る。ただし、以下に該当するものについては、未発表のものとしなす。
  - ①学会で口頭およびポスター発表したもの
  - ②シンポジウム、研究発表会、国際会議等で梗概または資料として発表したもの
  - ③国、自治体、団体等からの委託研究の成果報告書
- 2) 論文は本センターにおける研究事業、個人研究などの活動等、以下の条件を満たす研究とする。
  - ①萌芽的、発展性が期待できる研究
  - ②新規性、有用性、実用性に富んだ研究
  - ③学術的、技術的に価値ある研究
  - ④独創性があり理論的または実証的な研究
- 3) 報告は本センターにおける研究事業、個人研究などの活動等、以下の条件を満たす研究とする。
  - ①本センターにおける研究で、研究途上の成果や技法・方法論をまとめたもの
  - ②速報的なもの・手法の改善・部分的な改善も可
  - ③各領域において新しく蓄積されたデータや事例報告など
  - ④報告書などに発表された個別の研究成果を、特定の視点により総括したもの

### 3. 原稿の体裁と分量

- 1) 論文および報告は、原則和文とする。
- 2) 10,000 字（本文・注釈・参考文献・図表を含む。）、テンプレートファイル（MS Word 形式）を参考として 10 頁程度を目安とする。

## 4.スケジュール

**投稿申込期限** 2022年12月23日(金)

**投稿期限** 2023年2月13日(月)

**査読通知結果** 2023年3月中旬

**発行** 2023年5月予定

## 5.提出先と方法

- 1) 投稿申込は、期限までに論文タイトルと概要を電子メールにて編集委員会まで提出する。
- 2) 執筆原稿は、期限までに添付ファイルとして編集委員会まで提出する。ファイル形式はPDF形式。

提出先：紀要編集委員会 sasaoka.naomi@aga.tuae.ac.jp

## 6.掲載までの流れ

### 1) 査読

すべての投稿論文および報告は、編集委員会によって受付され、編集委員会が委嘱した2名以上の研究者等による匿名の査読を行う。査読結果に基づいて、編集委員会にて採否の可否を決定する。投稿者が学生の場合、採否は担当教員と査読委員が審議し、決定する。

### 2) 掲載に向けてのデータ提出

印刷用データとして以下の3点をデジタルデータにて提出をする(データ便などの利用も可)。

- ①原稿のデータファイル(MS Word形式) ※Word以外のソフトを使用している場合は別途事前相談のこと。
- ②文章と図表の配置を指示するPDFファイル(体裁を指示するもの)
- ③図表などの使用した画像ファイル(複数ファイルの場合はZIP形式とする。)

カラー原稿の場合：各データ 印刷原寸サイズ以上、解像度350dpi以上

モノクロ原稿の場合：各データ 印刷原寸サイズ以上、解像度600dpi以上

※ページ構成上、編集委員会にてカラー原稿をモノクロ原稿とする場合がある。その場合は執筆者に通知する。

### 3) 校正

初校～校了の確認までの校正は全て著者にて行い、編集事務局は誤字脱字等の軽微な確認を行う。

## 7. ホームページおよび東北芸術工科大学アーカイブズでの公開について

採択論文および報告は、本センターHPおよび本学論文・アーカイブズで公開する。校了後、2023年5月30日までに、英字表題(英字表題の場合は和文表題)・和文要旨(500文字以内)・英文要旨(200ワード以内)を文書ファイル(テキストまたはMS Word形式)にて提出する。

【お問い合わせ】 東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センター 笹岡 直美(専任研究員)  
023-627-2205(内線2260) sasaoka.naomi@aga.tuad.ac.jp